

表題

〇〇リハビリテーション病院
〇〇一郎

(1) 事例提出理由

(2) 事例概要

クライアント：Aさん 80代 女性
住所：B区
診断名：右大腿骨頸部骨折、心不全
既往歴：高血圧、心房細動、不整脈（ペースメーカー植込み）
保険：後期高齢者1割負担
介護保険：要支援1→要介護4
手帳：1種1級
職業：無職
経済状況：年金、福祉手当
住宅状況：アパート エレベーターなし外階段の2階
家族状況：妹Cさんと姉Dさんの三人暮らし

(3) 事例経過

〇年△月□日

妹Cさんより、医療ソーシャルワーカー（以下「MSW」という）に会いたいと電話にて来院予約の電話が入る。

E医師（以下「Dr」とする）から、退院できると病状説明受けたが、看たい気持ちはあるが、今の状況では家ではとても面倒看られないので、相談にのって欲しい、地域包括支援センターのFケアマネジャーにも相談したが、介護老人保健施設への入所を勧められている。しかし経済的にも心配で困っている。どうしたらいいかわからないので姉と二人で伺いたい。

〇年△月7日

妹Cさん姉Dさん相談室に来室。

〇年△月□+1日

Aさんが呼んでいると病棟看護師（以下「Ns」という）から電話が入る。

〇年△月□+2日

Aさんとベッドサイドにて面接を行う。

記載例

G S V - B ・ D 用

家に帰りたいが、アパートの2階で階段を上るのも大変、妹や姉に迷惑もかけられない、この前、病状説明があつて退院できるといわれたが、入院前と今では状況が違うので困っている。入院前も杖をついて歩いていたが、今はほとんど車いすで看護師さんに押してもらっているので、もう、階段は無理ねとため息をつく。

○年△月□+13日

E D r、病棟N s、G理学療法士(以下「P T」という)、MSWにてカンファレンスを行う。

○年△月□+34日

介護老人保健施設 相談員より受け入れ可能、面接予約の連絡をご家族からいただきたいと連絡入る。

○年△月□+62日

E D rより、病状説明を行いたい、先日の肺炎より食事が食べられず、中心静脈栄養を勧めたい。と電話が入る。

MSWにもH言語聴覚士(以下「S T」という)にも同席して欲しいので、病状説明の調整をして欲しい。と依頼あり。

記載例
GSV-B・D用

- (5) グループスーパービジョンを受けて感じたこと及びまとめ
私が、グループスーパービジョン（以下「GSV」という）を受けて感じたことは、・・・